

2017 年お正月三ヶ日のテレビ CM 動向

出演 CM 本数 タレントトップは『ももいろクローバーZ』 企業トップは『スズキ』

～ 『テレビCM速報』(「テレビ広告統計」超速報サービス)集計結果より ～

2017 年 1 月 5 日

株式会社ビデオリサーチ(本社:東京、社長:加藤 譲)は、この度、関東・関西・名古屋の各民放5局を対象にテレビ CM のオンエア状況を調査している「テレビ広告統計」データより、2017 年 1 月 1 日～3 日の間に関東地区でオンエアされたテレビ CM 動向を取りまとめましたのでご紹介します。

タレント別出演 CM 本数
1 位 ももいろクローバーZ 2 位 上戸 彩 3 位 桐谷 美玲
企業別 CM 本数
1 位 スズキ 2 位 ダイハツ工業 3 位 Cygames
商品・サービス別 CM 本数
1 位 ソフトバンク (ワイモバイル案内やギガモンスター案内などの企業広告) 2 位 ユーキャン (通信講座案内) 3 位 トリバゴジャパン トリバゴ

※詳細は別紙をご参照ください。

テレビ広告統計

ビデオリサーチのグループ会社である株式会社ビデオリサーチコムハウスが、関東・関西・名古屋の各地区において『いつ』『どこで』『どんな』CMが放送されたのかを系統的に収集し、独自の基準によって取りまとめた国内最大のテレビCMに関するデータベースです。

データの提供は、ビデオリサーチから為され、ユーザーズに応じて、月報(翌月)、週報(二週後)、テレビCM速報(オンエア翌日)など様々なタイミングで関連業界にてご活用いただいております。

株式会社ビデオリサーチコムハウス

株式会社ビデオリサーチのグループ会社、日本最大の CM データバンク。1969 年の創設以来、CM データをさまざまな角度から収集・分類・分析し、テレビ広告統計の提供に関するシステム化に取り組んでいます。

2017年1月1日～1月3日 テレビCM動向一覧

●タレント別テレビCM出演本数

順位	タレント名	本数	秒数	主な出演銘柄
1	ももいろクローバーZ	220	3,300	スズキ ハスラー／スズキ 製品総合(初売り案内) 他
2	上戸 彩	180	2,955	ソフトバンク(企業広告)／AOKI 他
3	桐谷 美玲	169	2,760	ソフトバンク(ワイモバイル案内)／東建コーポレーション(ホームメイトのサービス紹介) 他
4	中条 あやみ	166	2,490	ハーゲンダッツジャパン ハーゲンダッツ カップ／ハーゲンダッツジャパン ハーゲンダッツ クリスピーサンド 他
5	加藤 凌平	158	2,415	コナミ 遊戯王 デュエルリンクス／コナミ 実況パワフルプロ野球 他
5	田中 佑典	158	2,415	コナミ 遊戯王 デュエルリンクス／コナミ 実況パワフルプロ野球 他
5	山室 光史	158	2,415	コナミ 遊戯王 デュエルリンクス／コナミ 実況パワフルプロ野球 他
8	桜井 日奈子	145	2,175	コロプラ 白猫テニス／コロプラ 白猫プロジェクト／大東建託 他
9	ピコ太郎	141	2,340	ソフトバンク(ワイモバイル案内)／タマホーム／ディップ バイトル
10	阿部 寛	140	2,820	三菱東京UFJ銀行／積水化学 他
11	佐々木 希	132	2,025	ユーキャン(通信講座案内)／青山商事(洋服の青山案内) 他
12	堤 真一	126	2,010	日野 DUTRO／東宝 土竜の唄 香港狂騒曲／東宝 本能寺ホテル 他
13	広瀬 すず	123	2,595	富士フィルム／GSK コンタックかぜEX／SE ファイナルファンタジーブレイブエクスヴィアス
14	中居 正広	120	1,800	バンダイナムコ アイドルマスターシンデレラガールズスターライトステージ
14	福澤 朗	120	1,800	バンダイナムコ アイドルマスターシンデレラガールズスターライトステージ
16	玉山 鉄二	118	1,785	みずほフィナンシャルグループ／みずほ証券／ダイハツ ウェイク
17	鈴木 亮平	117	1,875	みずほフィナンシャルグループ／ハウスウェルネスフーズ メガシャキENERGY SHOCK 他
18	武井 咲	114	1,800	青山商事(洋服の青山案内)／イオン／東宝 妖怪ウォッチ
19	吉岡 里帆	112	1,710	リクルートマーケティングパートナーズ ゼクシィ／都市再生機構 他
20	佐藤 健	110	1,920	ソフトバンク(企業広告) 他

今年の正月三ヶ日では、企業数で596社(2016年:569社)、CM本数で11,680本(2016年:12,042本)のテレビCMが関東地区でオンエアされましたが(いずれも速報値、番組宣伝CM等テレビ局のPRは除く)、これをそのCMに出演しているタレント別にみると、出演テレビCM本数が最も多かったタレントは「スズキ」のCMに出演していた『ももいろクローバーZ』でした。

2位は「ソフトバンク(企業広告)」や「AOKI」のCMへの出演が目立った『上戸 彩』、3位は「ソフトバンク(ワイモバイル案内)」や「東建コーポレーション(ホームメイトのサービス紹介)」などのCMへの出演が目立った『桐谷 美玲』となっています。3位の『桐谷 美玲』は2016年の年始ではトップ20圏外となっており、本年の年始では大幅に出演CMの本数が増加しています。

またトップ10で見ると、昨年のリオオリンピックで活躍した男子体操の「加藤 凌平」「田中 佑典」「山室 光史」の3選手が、コナミのCMに起用されて同率5位でランクイン、そして9位には「ピコ太郎」もランクインし、昨年活躍した選手、タレントの出演本数の多さも目立っています。

●企業別テレビCM本数

順位	広告主名	本数	秒数
1	スズキ	290	4,665
2	ダイハツ工業	287	4,305
3	Cygames	263	4,080
4	ソフトバンク	252	4,440
5	バンダイナムコエンターテインメント	244	3,675
6	興和新薬	191	2,865
7	日産自動車	181	3,075
8	三井不動産	176	2,790
9	ハーゲンダッツジャパン	164	2,460
10	ユーキャン	162	2,865

企業別では、昨年同時期には2位だった『スズキ』がオンエア数を増やして1位となりました。

2位には『ダイハツ工業』がランクインし、上位2社は自動車メーカーとなっています。

また3位には昨年同時期4位だった『Cygames』がランクインしています。

昨年同時期ではトップ10圏外だった、『興和新薬』（昨年同時期22位、104本）、『三井不動産』（同36位、74本）、『ハーゲンダッツジャパン』（同26位、95本）、『ユーキャン』（同20位、112本）は昨年同時期よりも出稿本数を増やし、本年はトップ10にランクインしています。

●商品・サービス別テレビCM本数

順位	銘柄名	本数	秒数
1	ソフトバンク(ワイモバイル案内やギガモンスター案内などの企業広告)	224	4,005
2	ユーキャン(通信講座案内)	162	2,865
3	トリバゴジャパン トリバゴ	144	4,275
4	ハーゲンダッツジャパン ハーゲンダッツ カップ	138	2,070
5	Cygames グランブルーファンタジー	131	2,025
5	Cygames SHADOWVERSE	131	2,025
7	バンダイナムコ アイドルマスターシンデレラガールズスターライトステージ	120	1,800
8	東建コーポレーション(ホームメイトのサービス紹介や企業広告)	119	1,785
9	パナソニック(ショールーム紹介等の企業広告)	116	1,875
10	ピクシブ pixivコミック	114	1,890

商品・サービス別では、昨年同時期と同じく『ソフトバンク』（224本）のCMが1位となりました。

次いで2位には『ユーキャン』（162本）が、3位には『トリバゴジャパン トリバゴ』（144本）となっています。

昨年2位だった『Cygames グランブルーファンタジー』は5位となっておりますが、同じく5位に『Cygames SHADOWVERSE』、そして、7位に『バンダイナムコ アイドルマスターシンデレラガールズスターライトステージ』がランクインしており、昨年同様オンラインゲームアプリの出稿が目立っています。

※商品・サービス分類についてはビデオリサーチ独自の基準に従い集計しています。

集計対象局：関東5局（日本テレビ・テレビ朝日・TBS・テレビ東京・フジテレビ）

集計対象期間：2017年1月1日午前0時～1月4日午前0時未満のオンエアCMを対象

※確定前の速報データによる集計結果ですので、参考値であることをご了承ください。

■『テレビCM速報』について

今回の集計ではテレビ広告統計の日報サービスである、『テレビCM速報』を利用しています。このテレビCM速報は最速で放送日翌日10:00頃のタイミングでご提供します（2017年1月現在）。また、データはより手軽にご利用いただけるよう、指定銘柄（商品・サービス等）単位でのご提供としております。

オンエア翌日に投稿状況が確認できるという特長により、キャンペーン開始直後の投稿時点レベルでのGRP管理、さらには競合社・競合ブランドの動きを出稿量（到達量）含めて、いち早く把握することが可能となります。